

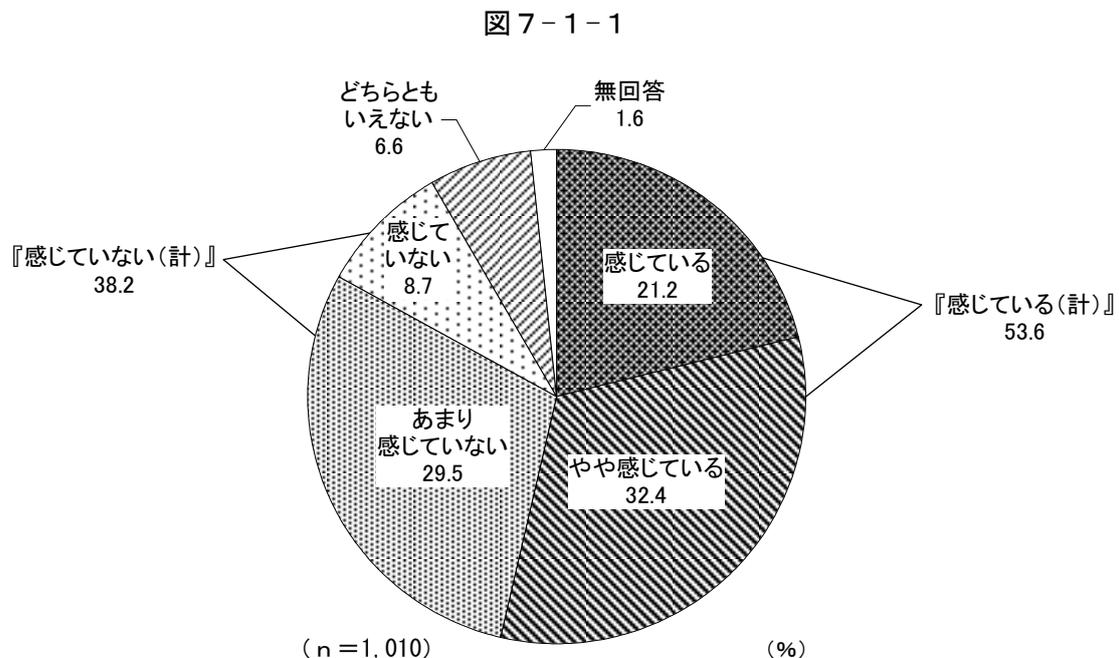
《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

7. 潤いとやすらぎのあるまち

(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか

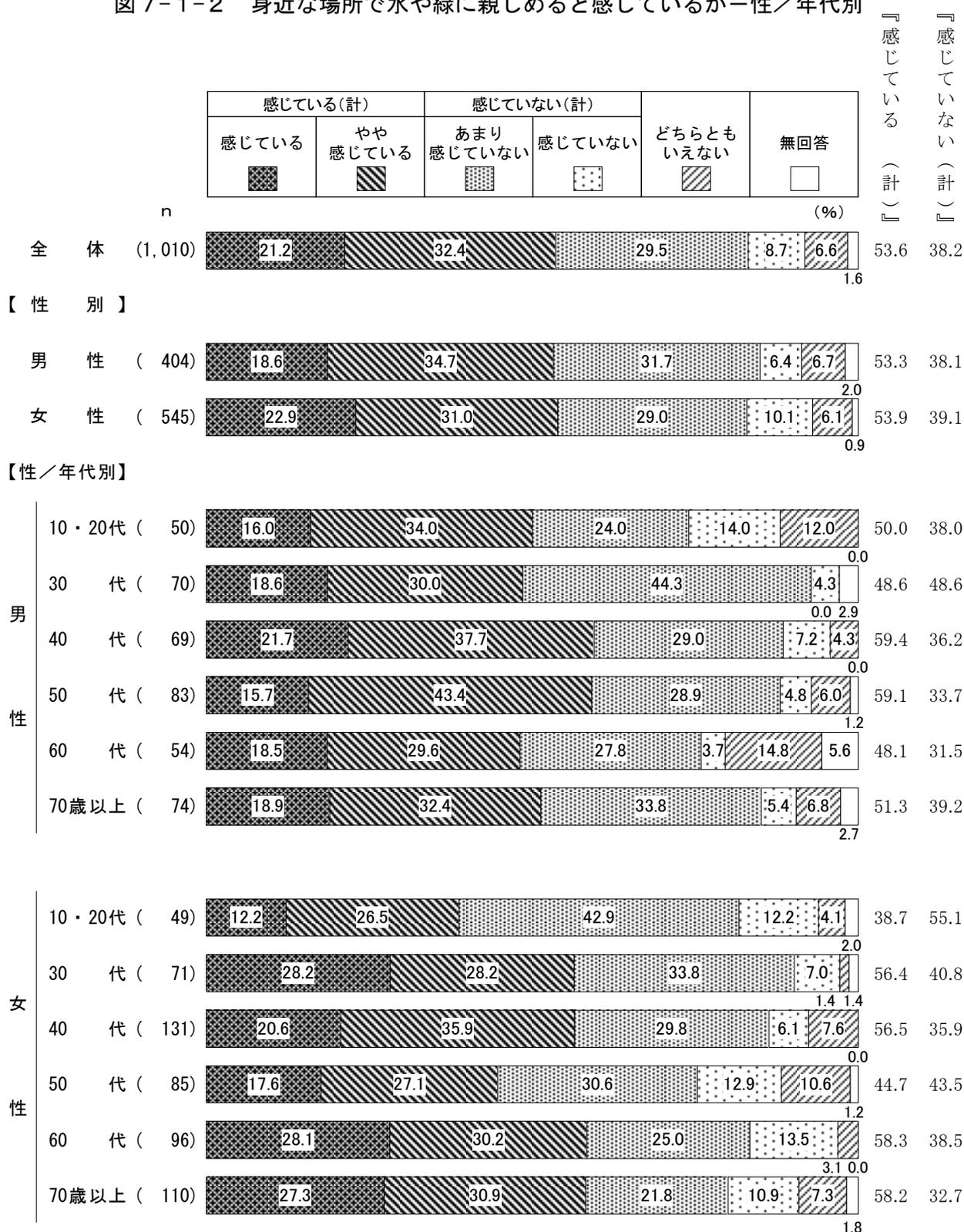
◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は5割を超える

問13 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(○は1つだけ)



身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(21.2%)と「やや感じている」(32.4%)を合わせた『感じている(計)』(53.6%)は5割を超えている。一方、「あまり感じていない」(29.5%)と「感じていない」(8.7%)を合わせた『感じていない(計)』(38.2%)は4割近くとなっている。(図7-1-1)

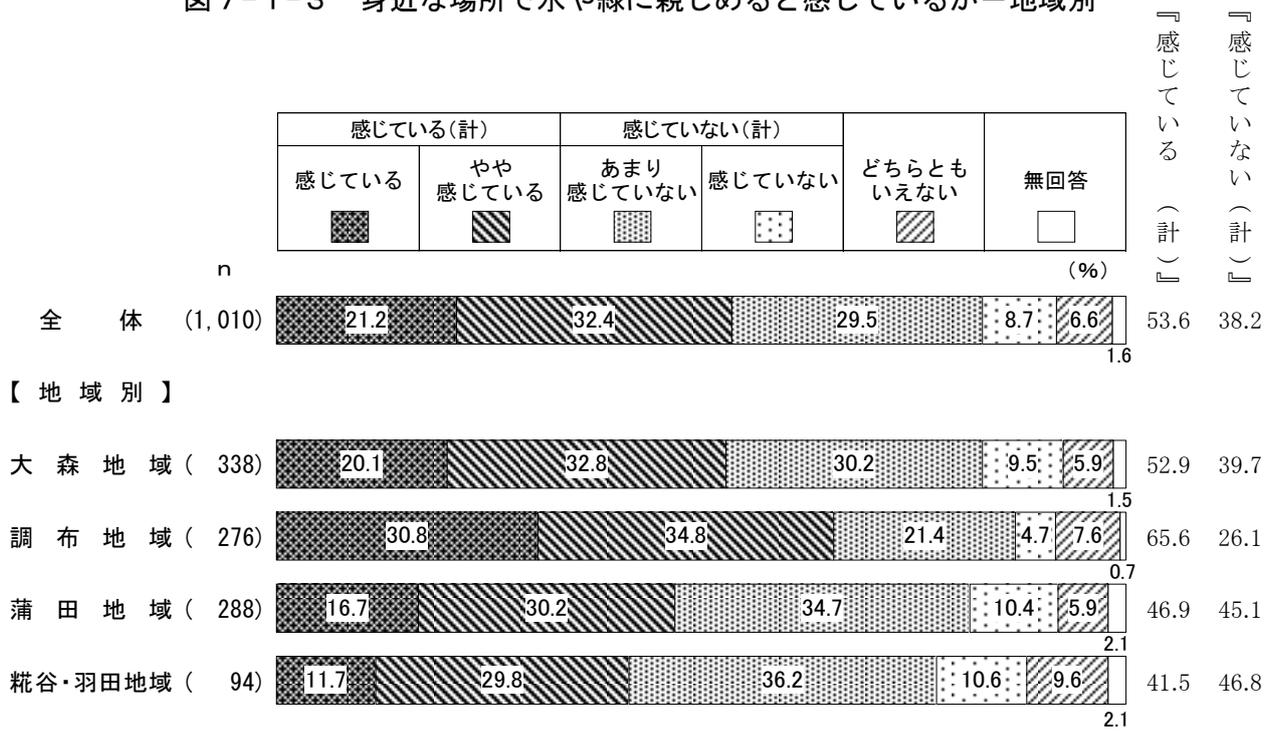
図 7-1-2 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか—性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性40代(59.4%)と男性50代(59.1%)で約6割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は女性10・20代(55.1%)で5割半ば、男性30代(48.6%)で5割近くと高くなっている。(図7-1-2)

図7-1-3 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(65.6%)で6割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糞谷・羽田地域(46.8%)と蒲田地域(45.1%)で4割台と高くなっている。(図7-1-3)